

PRESS RELEASE



2018年4月23日

マンション管理事業の承継に関する契約締結について

株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻 範明）の子会社であるマンション管理事業を統括する中間持ち株会社、株式会社長谷工管理ホールディングス（本社：東京都港区、社長：三田部 芳信、以下「当社」）は、星光ビル管理株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：饗庭 浩二、以下「星光ビル管理」）が行うマンション管理事業の承継（以下、「本取引」）に関する契約を、星光ビル管理と締結いたしました。

なお、現在、星光ビル管理が管理受託しているマンションの管理組合様との契約内容に変更はなく、これら実績から培って参りました長谷工グループの経験とノウハウを活用して、現在ご入居いただいている方々が安心して快適なマンションライフを送れることを第一に、マンション管理事業を展開してまいります。

（※1）本取引の対象事業は、星光ビル管理が行っているマンション管理事業です。

【星光ビル管理の概要】

社名：星光ビル管理株式会社
設立：1950年12月
代表者：饗庭浩二
資本金：5億円
本社所在地：大阪府大阪府中央区伏見町4-4-1
事業概要：オフィスビルをはじめとする総合ビル管理事業

【長谷工管理ホールディングスの概要】

社名：株式会社長谷工管理ホールディングス
設立：2017年1月
代表者：三田部芳信
資本金：1億円
本社所在地：東京都港区芝2-6-1
事業概要：分譲マンション管理会社4社を統括する中間持株会社。

【本取引の意義】

当社グループは、従前は首都圏・近畿圏に経営資源を集中させてまいりましたが、近年では段階的に事業の地方展開を推進してきております。本取引は、当社グループのマンション管理事業の地方展開をさらに促進する絶好の機会と認識しております。

すなわち、本取引により、マンション管理事業の既存展開地域における事業のさらなる強化・拡大、一方、未展開地域への新規参入による新たな事業機会の獲得が可能と考えております。

具体的には、本取引により、既に事業を展開している西日本地域では、管理戸数の増大を実現できます。特に近畿圏、東海地区、九州地区は、管理戸数の拡大による事業効率の改善及び周辺事業獲得機会の向上が期待されます。

また、四国、中国エリアには管理会社の拠点がございませんので、本取引により新エリアへ進出する橋頭保を築くことができ、当社グループのマンション管理事業を西日本の主要全都市にて事業展開することも視野に入っております。本取引は当社グループにとって大変大きな意義があると考えております。

【当社グループのマンション管理実績】

当社グループでは、株式会社長谷工コミュニティを中心として、株式会社長谷工スマイルコミュニティ、総合ハウジングサービス株式会社、株式会社長谷工コミュニティ九州を傘下にマンション管理事業を展開しており、2018年3月末には当社グループ全体のマンション管理受託戸数は376千戸に達しております。